白根地区

～貴重な町屋群が残る 凧合戦のまち～

※地図は実際の縮尺とは異なります。

ガイド紹介

世界一の大凧合戦と、歴史的建築物が残る町屋の町並みを案内します。

しろね大凧タウンガイド

「しろね大凧タウンガイド」は、白根大凧合戦期間中、凧合戦のルールや見どころをガイドするほか、合戦期間外も、町屋や小路を中心とした白根商店街の町並みの魅力を、まち歩きを通じてガイドしている。

白根といえば凧合戦のまち、実は凧以外にも面白い見どころがたくさんあります。様々なコースを用意しておりますので、白根のまち歩きを楽しんでください。Facebook や Instagram でも活動情報を発信しています。

【ガイド申し込み先】しろね大凧タウンガイド事務局
電話：070-4296-3345
（平日9時～17時）
メール：shironetown@yahoo.co.jp
ガイド料：1人500円
（中学生以下無料）

世界一の大凧合戦を支える設備たち

毎年6月上旬に開催される白根大凧合戦は、川幅約80mの中ノ口川を挟んで、24畳の大凧約300枚、六角凧の巻凧約1200枚が戦う、世界最大スケールの凧合戦だ。そんな大凧のまち・白根には、人々の日常生活とは全く関係のない、「凧合戦のためだけに」造られた設備が点在する。白根の人々の凧にかける情熱と工夫を垣間見ることができる、おすすめのまち歩きスポットだ。

1 白根橋東側の堤防上にたたずむ青い横棒

中央通から中ノ口川堤防へ向かう坂を上っていくと、左手の堤防護岸上に、手すりのような青い横棒がある。これは、東側の大凧が、合戦に至らなかった大凧を下ろして回収する際に、堤防の護岸コンクリートで凧綱を傷めないために設置されている。なぜか西側堤防にはない。

2 世界に２つだけ!? 凧合戦専用マンホール

凧合戦期間中、このマンホールの下に隠れている土台に支柱を立て、大凧が合戦で綱を引き合う際に、相手に綱を引き取られないように巻き付けられる。西（味方）側とあわせて、世界に２つしか存在しない凧合戦専用マンホールなのだ。

県内有数の保存率を誇る白根商店街の町屋

「ダシアイ」がよくわかる町屋（魚町）

銅板を使った看板建築（五六の町）

初代名主 袖山半兵衛 重勝の屋敷跡（五六の町）

白根商店街には、県内でも有数の保存率を誇る町屋（商人・職人の伝統的な住宅）が数多く残されている。白根の町屋の特徴として、町屋と町屋の間の約90㎝の隙間を、隣接する町屋同士で床の間や押し入れとして利用する「ダシアイ」という構造が見られる。また、屋根の形状は切妻・妻入り形状のものが多く、魚町にはこの切妻・妻入り屋根の町屋が連続して立ち並ぶ貴重な町並みが見られる。さらに、建物正面を銅板やモルタル等で平面に装飾した「看板建築」と呼ばれる建築様式の町屋が見られるなど、白根の町屋は多種多様で、見ていて飽きることがない。

出典：白根町並み巡りＭＡＰ（しろね町屋あるき研究会発行）
白根の町屋について図解付きで詳しく解説されている

※白根の町屋はすべて非公開です。まち歩きの際は住民のプライバシーにご配慮ください。

二次元コードを読み取り、動画を見てみよう！

案内標識に貼ってある二次元コードを読み取ると、そのスポットに関する動画がご覧になれます。

1. 白根大凧合戦会場 — 世界最大スケールの凧合戦
2. 凧合戦用マンホール — 世界に２つだけのマンホール
3. 初代袖山半兵衛重勝の屋敷跡 — 重厚な白根を代表する町屋造り
4. ヤマキチ醤油跡 — ヤマキチ様と呼ばれた大店
5. 白根中央通郵便局
6. 横町バス停
7. 六斎市 — 4と9のつく日に開かれる定期朝市
8. 空屋（そらや） — 昭和初期建築の再生町屋
9. 割烹金長 — 明治中期創業の格調高い造り
10. 洪水を止めた米俵 — 白根のまちを洪水から守った439俵

まちなかの案内標識を探してみよう！

白根商店街には、2020年にしろね大凧タウンガイドが整備を行った案内標識が42か所、52枚設置されている（※）。案内標識には、白根のまち歩きの見どころが写真・図柄付きで詳しく解説されているため、ガイド無しでもまち歩きを楽しむことができる。また、その地域がどこの大凧組に属しているかを凧組の絵柄と町名を表示しているため、凧合戦が開催されていない時でも、凧を身近に感じながらまち歩きをすることができる。

※2024年3月現在